

令和5年度事業報告書

I 事業概要

広く県民一般に対し、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行うことにより、これらに対する認識を高め、もって原子力の平和利用の円滑な推進に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、令和5年度事業は全て実施することができた。減少が続いていた来館者数についても大幅に増加し、新型コロナウイルス感染症の影響が完全に無くなったわけではないが、改善傾向が見られる。

II 事業

1 エネルギーの明日が体験できる「ふれあい広場」の維持管理及び運営

(1) 展示ホールの運営（県受託事業・普及啓発事業）

原子力発電の仕組みや放射線、発電所の安全対策や県の環境放射線監視体制などについての展示物を、来館者へ公開した。

利用人数の推移

(単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館総日数	335	324	343	341	341
見学者総数	1,801	713	619	552	1,136
前年度対比	93.2%	39.6%	86.8%	89.2%	205.8%
見学者累計	158,405	159,118	159,737	160,289	161,425

(2) 展示ホールの保守管理【県受託事業】

展示物の保守管理及び必要な修繕を実施するとともに、最新の情報提供に努めた。

- ・展示物「原子力情報BOX・伊方発電所Q&A」運用保守監視
- ・展示ホール監視カメラ更新
- ・展示物「原子力情報BOX・伊方発電所Q&A」バージョンアップ対応
- ・展示物「ダイナマックスシアター」プロジェクター更新
- ・展示ホール2F吹抜け部分照明器具修繕
- ・愛媛県伊方原子力広報センター展示物点検

2 原子力及びその平和利用に関する広報研修活動

(1) 放送放映事業の実施【普及啓発事業】

住民に放射線の正しい知識を普及啓発するため、CATVを利用し、「身近な放射線～正しく知って正しく恐れよう～」（9分）の動画を放送した。

・(一財)八西CATV

期 間 令和5年9月2日～12月17日

回 数 16回

・西予CATV(株)

期 間 令和5年10月11日、19日

回 数 2回

(2) 新聞折込広報の実施【県受託事業】

原子力・放射線関連のチラシを作成し、新聞折込広告により原子力・放射線の正しい知識の普及啓発及び広報センターの行事案内や参加者募集に努めた。

	印刷部数	折込時期
1回目	60,590枚	令和5年 7月23日
2回目	58,510枚	令和5年10月22日

折込新聞 愛媛、朝日、毎日、読売、産経の5紙

折込地域 伊方発電所周辺地域 5市2町

(3) 原子力講演会の実施

① 講演会【県受託事業・町受託事業】

原子力や放射線をテーマとした講演会を開催し、県民を対象に広く原子力の知識の普及啓発に努めた。

伊方会場【町受託事業】

開催日時 令和5年9月7日(木) 14:00～16:00

開催場所 伊方町生涯学習センター5階 多目的ホール

演 題 「放射線の基本と人体への影響」

講 師 愛媛大学 名誉教授 望月 輝一 先生

参加者 40名

松山会場【県受託事業】

開催日時 令和5年10月7日(土) 13:30～15:30

開催場所 愛媛県武道館 大会議室

演 題 「エネルギーの現状と原子力

～GX(グリーン転換)に向けた挑戦～」

講 師 近畿大学副学長 理工学部・原子力研究所 教授 渥美 寿雄 先生

参加者 25名

内子会場【県受託事業、内子町との共催】

開催日時 令和5年12月3日(日) 10:00～11:30

開催場所 五十崎自治センター 共生館ホール

演 題 「放射線被ばく事故の歴史とこれからの課題」

講 師 広島大学原爆放射線医科学研究所 教授 保田 浩志 先生

参加者 150名

宇和島会場【県受託事業】

開催日時 令和6年1月28日(日) 13:30~15:30
開催場所 宇和島市立吉田公民館大ホール
演題 「欧州発エネルギー危機が変えた産業、家庭と地域の将来」
講師 国際環境経済研究所所長、常葉大学 名誉教授 山本 隆三 先生
参加者 18名

② 自治体向け放射線セミナー【県受託事業】

30キロ圏内の自治体職員を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

開催市町 内子町
開催日時 令和5年9月27日(水) 13:30~15:30
開催場所 内子町民会館 2階 大ホール
演題 「放射線の基礎知識」
講師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参加者 41名

開催市町 八幡浜市
開催日時 令和5年11月7日(火) (計2回)
10:00~11:30
13:30~15:00
開催場所 八幡浜市民文化活動センター 2階 ホール
演題 「放射線の基礎知識」
講師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参加者 158名

③ 一般向け放射線セミナー【町受託事業】

伊方町内の住民を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

○伊方地域：大浜地区

開催日時 令和5年9月3日(日) 8:00~9:00
開催場所 大浜集会所 2階
演題 放射線被ばくによる人体への影響
講師 長崎大学 原爆後障害医療研究所
国際保健医療福祉学研究分野 助教 松永 妃都美 先生
参加者 39名

○瀬戸地域：川之浜地区

開催日時 令和5年9月3日(日) 8:00~9:00
開催場所 瀬戸社会教育会館 2階

演 題 放射線被ばくによる人体への影響
講 師 長崎大学 原爆後障害医療研究所
国際保健医療福祉学研究分野 教授 高村 昇 先生
参 加 者 26名

④ 教員向け放射線セミナー【普及啓発事業】

30km圏内の教職員を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

開催日時 令和5年9月22日（金）14：30～15：30
開催場所 内子分庁 3階 中会議室
対 象 内子町の小中学校教職員
演 題 放射線の基礎知識
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参 加 者 15名

⑤ 団体向け放射線セミナー【町受託事業・普及啓発事業】

30km圏内の団体を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

【町受託事業】

開催団体 朝日共販株式会社
開催日時 令和5年10月12日（木）14：00～15：30
開催場所 朝日共販株式会社 3階 会議室
演 題 「放射線の基礎知識」
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参 加 者 9名

【普及啓発事業】

開催団体 八幡浜商工会議所
開催日時 令和6年2月8日（木）16：00～17：00
開催場所 八幡浜商工会議所 3階 特別会議室
演 題 「放射線の基礎知識」
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生
参 加 者 16名

⑥ 子ども放射線出前セミナー【県受託事業・町受託事業】

30km圏内5市2町の小中学校及び三崎高等学校の10校を対象にセミナーを開催し、放射線の講義や簡易放射線測定器による放射線の測定のほか、霧箱による放射線の観察を行い、放射線に関する正しい知識の普及に努めた。

講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造 先生

市町名	学校名	受講学年	開催日	生徒児童 人数	事業
宇和島市	戸島小学校	6年	令和5年10月23日(月)	6	県受託事業
西予市	三瓶小学校	6年	令和5年10月31日(火)	28	
八幡浜市	神山小学校	6年	令和5年11月24日(金)	42	
八幡浜市	日土小学校	5.6年	令和5年11月27日(月)	25	
大洲市	長浜小学校	6年	令和5年11月28日(火)	43	
大洲市	肱川小学校	6年	令和5年12月6日(水)	15	
小学校 6校 計				159	
伊方町	瀬戸中学校	全学年	令和5年11月6日(月)	21	
大洲市	大洲南中学校	3年	令和5年11月10日(金)	56	
八幡浜市	愛宕中学校	全学年	令和5年11月13日(月)	97	
中学校 3校 計				174	
伊方町	三崎高等学校	1年	令和5年10月18日(水)	58	
高等学校 1校 計				58	
総計				391	

⑦ エネルギー講座【普及啓発事業】

伊方町の小学生を対象に、ロボット等の機械を利用しエネルギーについて楽しく学ぶ講座を開催した。

開催日時 令和5年7月21日(金) 13:00～15:30
開催場所 伊方町民会館 2階 視聴覚室及び愛媛県伊方原子力広報センター
2階 展示ホール
内 容 ロボットの実演、簡易ロボットの工作、電気・エネルギーの話
講 師 八幡浜工業高校教師3名及び生徒10名
参 加 者 三机・大久小学校児童9名

⑧ 子ども科学教室【普及啓発事業】

伊方町の小学生を対象に、サイエンスショーや科学実験を通じて、科学やエネルギーについて楽しく学ぶ教室を開催した。

開催日時 令和6年1月21日(日) 13:00～14:00
開催場所 伊方町民会館 3階 研修室
内 容 「空飛ぶヒミツ～飛行機の飛ぶ仕組み～」
講 師 愛媛県総合科学博物館 学芸課科学・産業研究グループ
専門学芸員 藤本 光章 氏
参 加 者 子ども8名 保護者4名

⑨ 子ども工作教室【普及啓発事業】

伊方町の小学生を対象に、工作を通じてエネルギーについて楽しく学ぶ教室を開催した。

開催日時 令和6年1月21日(日) 14:00～15:30
 開催場所 伊方町民会館 3階 研修室
 内 容 「ゴム動力で動くプルバック式自動車」
 講 師 愛媛県総合科学博物館 学芸課科学・産業研究グループ
 専門学芸員 藤本 光章 氏
 参加者 子ども8名 保護者4名

(4) 簡易放射線測定器貸出【県受託事業】

個人 なし
 団体 なし

3 原子力及びその平和利用に関する各種資料の作成及び刊行

(1) 広報用リーフレット「えひめ原子力だより それいゆ」の発行、配布【県受託事業】

県の原子力防災に関する取組状況、環境放射線等調査結果等を掲載した広報用リーフレットを発行、配布した。

内 容 環境放射線等調査結果、原子力関係情報、各種行事案内
 えひめ1dayジャーニー Study and Active 他
 発 行 年4回 67,200部×4回
 配 布 先 30km圏内の5市2町は全戸配布（一部、地区単位の見学での閲覧あり）、県内の市町、コンビニ・スーパー、関係機関及び周辺6県

(2) 広報資料冊子の購入、配布（県受託事業・町受託事業・普及啓発事業）

原子力、放射線関連の資料冊子を購入し、セミナー参加者や来館者等に配布し、正しい知識の普及啓発に努めた。

種 類	購入部数	配 付 先
【県受託事業】		
「原子力総合パンフレット2023」	320部	セミナー、講演会、見学会、 展示ホール来館者等
「いま知りたい からだと放射線」	50部	
【町受託事業】		
「原子力総合パンフレット2022」	150部	セミナー、講演会、見学会、 展示ホール来館者等
「いま知りたい からだと放射線」	400部	
【普及啓発事業】		
「いま知りたい からだと放射線」	146部	セミナー、展示ホール来館者等

(3) 広報用カレンダーの作成、配布【町受託事業】

原子力関連情報を記載した広報用カレンダーを作成して伊方町全戸に配布し、日々の生活

の中での身近な広報啓発に努めた。

題 材 「いかたハイク」、放射線ミニコラム
作成部数 4,700部
配布先 伊方町内全戸、町内公共施設、関係機関等

(4) 広報用資料の作成、配布【普及啓発事業】

○原子力関連情報を記載した広報用うちわを作成し、「きはなはいや伊方まつり」、「瀬戸の夕風祭り」、及び「三崎地域夏祭り」で配布した。

作成本数 1,750本

○原子力関連情報を記載した広報用天チャック袋を作成し、各事業参加者へ配布した。

作成部数 400個

○原子力関連情報を記載した広報用ポケットティッシュを作成し、各事業参加者へ配布した。

作成部数 7,000個

4 原子力及びその平和利用に関する各種資料の収集及び公開

(1) 閲覧資料整備【町受託事業】

新聞7紙の原子力関連記事を、収集・データベース化した。

原子力関連新聞記事の収集件数

新聞名	件数	新聞名	件数
朝日新聞	524件	日本経済新聞	499件
毎日新聞	539件	日刊工業新聞	285件
読売新聞	518件	愛媛新聞	813件
産経新聞	498件	合計	3,676件

(2) 情報発信収集の実施

① インターネットによる情報発信・収集【普及啓発事業】

ホームページ等に原子力、放射線関連の情報や各種事業の案内等を掲載し、リアルタイムの情報提供と知識の普及啓発に努めた。

令和5年度アクセス件数 4,384件

② インターネットによる情報収集【県受託事業】

展示ホールのパソコンを、来館者に無料開放した。

5 原子力施設見学の指導及び実施

愛媛県民を対象に、原子力関連施設の見学会を実施し、原子力に対する知識の普及啓発に努めた。

(1) 一般見学会【県受託事業】

愛媛県民を対象に、見学会を5回実施した。

実施日	参加対象	参加人数	事業区分
令和5年 8月18日(金)	原則として30km圏内の5市2町の一般住民	25名	県受託事業
令和5年 8月23日(水)		31名	
令和5年 8月29日(火)		21名	
令和5年11月16日(木)		20名	
令和5年11月22日(水)		27名	
合計		124名	

見学施設：伊方発電所・伊方ビジターズハウス・愛媛県原子力センター
伊方原子力広報センター

(2) 団体見学会【県受託事業・町受託事業】

防災エリア30km圏内の各種団体を対象に、見学会を3回実施した。

実施日	参加団体	参加人数	事業区分
令和5年 8月26日(土)	大洲市「今坊公民館」	24名	県受託事業
令和5年 9月26日(火)	伊方町「湊浦老人クラブ」	32名	町受託事業
令和6年 2月16日(金)	伊方町「紅梅学級」	16名	
合計		72名	

見学施設：伊方発電所・伊方ビジターズハウス・伊方原子力広報センター

事業報告の付属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	34,638,647	33,358,801	1,279,846
普通預金	1,638,647	358,801	1,279,846
伊予銀行伊方支店	1,638,647	358,801	1,279,846
定期預金	33,000,000	33,000,000	0
未収金	6,749,928	9,734,121	△2,984,193
流動資産合計	41,388,575	43,092,922	△1,704,347
2 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	6,000,000	6,000,000	0
基本財産合計	6,000,000	6,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,159,773	6,467,807	691,966
減価償却引当資産	1,391,837	1,316,283	75,554
特定資産合計	8,551,610	7,784,090	767,520
(3) その他固定資産			
什器備品	2,384,180	2,384,180	0
減価償却累計額 △	2,268,671	2,193,117	75,554
その他固定資産合計	115,509	191,063	△75,554
固定資産合計	14,667,119	13,975,153	691,966
資産の部合計	56,055,694	57,068,075	△1,012,381
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,818,815	6,396,909	△1,578,094
預り金	164,832	53,733	111,099
流動負債合計	4,983,647	6,450,642	△1,466,995
2 固定負債			
退職給付引当金	7,159,773	6,467,807	691,966
固定負債合計	7,159,773	6,467,807	691,966
負債の部合計	12,143,420	12,918,449	△775,029
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
出資金	6,000,000	6,000,000	0
指定正味財産合計	6,000,000	6,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
2 一般正味財産	37,912,274	38,149,626	△237,352
(うち特定資産への充当額)	(1,391,837)	(1,316,283)	(75,554)
正味財産の部合計	43,912,274	44,149,626	△237,352
負債及び正味財産合計	56,055,694	57,068,075	△1,012,381

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	120	120	
基本財産受取利息	120	120	
特定資産運用益	139	16	123
特定資産受取利息	139	16	123
事業収益	28,314,007	26,372,884	1,941,123
県受託事業収入	18,988,326	17,439,458	1,548,868
町受託事業収入	9,325,681	8,933,426	392,255
受取寄付金	20,000,000	20,000,000	
受取寄付金	20,000,000	20,000,000	
雑収益	48,148	30,654	17,494
受取利息	648	654	△6
雑収益	47,500	30,000	17,500
経常収益計	48,362,414	46,403,674	1,958,740
(2) 経常費用			
事業費	44,752,102	42,980,357	1,771,745
役員報酬	3,169,726	3,070,961	98,765
給料諸手当	9,935,433	9,881,268	54,165
退職給付費用	553,573	471,333	82,240
福利厚生費	1,773,256	1,728,617	44,639
旅費交通費	295,910	508,210	△212,300
通信運搬費	4,347,981	4,254,916	93,065
減価償却費	60,444	112,441	△51,997
消耗什器備品費	308,361	155,634	152,727
消耗品費	1,921,974	1,792,877	129,097
修繕費	2,012,340	2,177,010	△164,670
印刷製本費	14,887,884	13,854,500	1,033,384
燃料費		27,381	△27,381
光熱水料費	1,046,975	1,200,313	△153,338
賃借料	889,940	745,860	144,080
保険料	144,948	150,024	△5,076
諸謝金	239,800	240,600	△800
租税公課	981,953	931,781	50,172
委託費	2,006,857	1,330,289	676,568
雑費	174,747	346,342	△171,595
管理費	3,847,664	3,653,129	194,535
役員報酬	792,432	767,736	24,696
給料諸手当	1,901,640	1,905,623	△3,983
退職給付費用	138,393	117,833	20,560
福利厚生費	443,314	432,159	11,155
会議費	26,830	26,720	110
旅費交通費	144,470	3,990	140,480
通信運搬費	49,010	51,537	△2,527
減価償却費	15,110	28,110	△13,000
消耗什器備品費	43,485	35,988	7,497
消耗品費	33,384	84,169	△50,785
修繕費	13,200	880	12,320
燃料費		2,519	△2,519
光熱水料費	16,159	18,526	△2,367
保険料	2,370	6,890	△4,520
租税公課	17,547	17,219	328
委託費	8,059		8,059

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
諸会費	152,500	79,500	73,000
雑費	39,761	73,730	△33,969
研修費	10,000		10,000
経常費用計	48,599,766	46,633,486	1,966,280
評価損益等調整前当期経常増減額	△237,352	△229,812	△7,540
評価損益等計			
当期経常増減額	△237,352	△229,812	△7,540
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期損益修正益		758,780	△758,780
前期損益修正益		758,780	△758,780
経常外収益計		758,780	△758,780
(2) 経常外費用			
前期損益修正損		758,777	△758,777
前期損益修正損		758,777	△758,777
経常外費用計		758,777	△758,777
当期経常外増減額		3	△3
税引前当期一般正味財産増減額	△237,352	△229,809	△7,543
当期一般正味財産増減額	△237,352	△229,809	△7,543
一般正味財産期首残高	38,149,626	38,379,435	△229,809
一般正味財産期末残高	37,912,274	38,149,626	△237,352
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	6,000,000	6,000,000	
指定正味財産期末残高	6,000,000	6,000,000	
III 正味財産期末残高	43,912,274	44,149,626	△237,352

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

貸借対照表科目 (流動資産)	場所・物量等	使用目的等	金額
現金預金 普通預金	伊予銀行伊方支店 普通預金 愛媛信用金庫八幡浜支店 普通預金	運転資金として 日本フルハップ引落口座として	34,638,647 1,638,647 0 円
定期預金	伊予銀行伊方支店 定期預金	運転資金として	33,000,000
未収金	愛媛県 伊方町 日本フルハップ	令和5年度受託事業分 令和5年度受託事業分 人間ドック助成金	6,546,108 円 173,820 円 30,000 円
流動資産合計			41,388,575
(固定資産)			
現金預金 定期預金	伊予銀行伊方支店 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の事業の財源として使用している。(愛媛県・伊方町・四国電力㈱ 出資金 各200万円)	6,000,000
退職給付引当資産 減価償却引当資産	伊予銀行伊方支店 定期預金 伊予銀行伊方支店 定期預金 伊予銀行伊方支店 普通預金	職員の退職金に備えたもの 資産取得資金	7,159,773 円 1,391,837 円
什器備品 有形固定資産	放射線環境モニタ 9台 パソコン 4台、展示ホールパンチ 1脚	うち公益目的保有財産 うち管理目的として使用する財産 (期末帳簿価格) (期末帳簿価格)	92,406 円 23,102 円
無形固定資産	会計・給与ソフトウェア	管理目的として使用する財産 (期末帳簿価格)	1 円
固定資産合計			14,667,119
資産合計			56,055,694
(流動負債)			
未払金	伊方町 日本郵便(株) セキ㈱ 宇和島年金事務所 ㈱プライサー	令和5年度職員派遣 人件費 えひめ原子力だより 送料 ホームページ保守管理業務委託 他 2.3月分社会保険料 展示物保守監視・レンタルサーバー費用 公益目的の事業及び管理目的の業務に使用する小口費用	3,000,000 円 1,025,020 円 314,600 円 233,700 円 145,200 円 100,295 円
預り金		所得税 社会保険料 雇用保険料	50,040 円 114,494 円 298 円
流動負債合計			4,983,647
(固定負債)			
退職給付引当金		公益目的の事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	7,159,773
固定負債合計			7,159,773
負債合計			12,143,420
正味財産			43,912,274

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
- 2 引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
計上の理由及び金額の算定方法は、財務諸表に対する注記 2 重要な会計方針に記載のとおりである。

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記
該当事項なし

2 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……………定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員の退職給付の支給に備えるため、期末退職給付要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金	6,000,000	0	0	6,000,000
小計	6,000,000	0	0	6,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,467,807	691,966	0	7,159,773
減価償却引当資産	1,316,283	75,554	0	1,391,837
小計	7,784,090	767,520	0	8,551,610
合 計	13,784,090	767,520	0	14,551,610

4 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産から の充当額)	(うち一般正 味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本金	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(—)
小 計	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	7,159,773)	(—)	(7,159,773)
減価償却引当資産	1,391,837)	(1,391,837)	(—)
小 計	8,551,610	(0)	(1,391,837)	(7,159,773)
合 計	14,551,610	(6,000,000)	(1,391,837)	(7,159,773)

5 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,384,180	2,268,671	115,509

6 重要な後発事象

特になし

監査報告書

令和6年4月26日

公益財団法人伊方原子力広報センター

代表理事 高門清彦 殿

公益財団法人伊方原子力広報センター

監事 松浦 武志 

公益財団法人伊方原子力広報センター

監事 細川 学 

公益財団法人伊方原子力広報センター

監事 三好利文 

私たちが監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書

並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

【別紙1:公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条
第1項第2号に掲げる書類】

事業 年度	自	令和5年4月1日	法人コード	A006203
	至	令和6年3月31日	法人名	公益財団法人伊方原子力広 報センター

運営組織及び事業活動の状況の概要等について

1. 法人の基本情報について

法人の名称	公益財団法人伊方原子力広報センター		
設立登記日(注)	平成23年4月1日		
法人の目的	広く県民一般に対し、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行うことにより、これらに対する認識を高め、もって原子力の平和利用の円滑な推進に寄与することを目的とする。		
主たる事務所の所在場所	都道府県	市区町村番地等	
	愛媛県	西宇和郡伊方町湊浦1995番地1	
社員の資格の得喪の条件 (公益社団法人のみ)			
社員の数(公益社団法人のみ)		人	

注 旧民法に基づき設立された法人にあっては、新制度への移行登記をした日付になります。

2. 事業活動等について

(1) 収支相償

収益事業等から生じた 利益の繰入割合	50%		
第2段階の合計	収入の額	費用の額	
	44,770,531 円	44,752,102 円	
収入 > 費用の場合の対応	原子力広報事業の拡充に充当		

(2) 公益目的事業比率

公益目的事業比率 (欄の額 ÷ 欄～ 欄の合計額)	92.1 %
公益実施費用額	44,752,102 円
収益等実施費用額	0 円
管理運営費用額	3,847,664 円

(3) 寄附を受けた財産の額

寄附を受けた財産の額	20,000,000 円	うち個人から	0 円
		うち法人から	20,000,000 円

(4) 金融資産の運用収入の額

金融資産の運用収入の額	777 円
-------------	-------

(5) 資産、負債及び正味財産の額

資産額	56,055,694 円	負債額	12,143,420 円
		正味財産額	43,912,274 円

(6) 遊休財産額

遊休財産額の保有上限額	44,752,102 円
遊休財産額	37,796,765 円

(7) 当事業年度の末日における公益目的取得財産残額

公益目的取得財産残額(欄 + 欄の合計額)	11,729,978 円
公益目的増減差額	5,637,572 円
公益目的保有財産の帳簿価額の合計額	6,092,406 円

(8) 理事、監事及び評議員の報酬等の額

理事等の報酬等の総額	3,962,158 円
(うち、退職手当の額)	0 円

(9) 事業の運営に関する行政庁からの勧告又は命令の有無

当事業年度の勧告又は命令の有無(注)	無
--------------------	---

注 当事業年度以前に受けた勧告又は命令であって、行政庁に改善の報告をしていないものを含みます。